

おかげ様で、創業80周年

2月号

いつもありがとうございます!

ありがとう
80周年に感謝



月刊

商売繁盛のツボ

本誌は、いつもお世話になっているクライアント様、名刺交換をさせて頂きました皆様にお送りしております。

発行：晃南印刷株式会社・DICアルファ 〒322-0025 栃木県鹿沼市緑町3-8-33

売上UP↑ 販売促進

コンセプトをつくれれば 売上げが上がる…!?

あなたの会社には**コンセプト**がありますか? ない場合は危険です。…なぜなら、**お客様の印象に残らないから**。

例えば、スタッフに向けて、「ただ「頑張ろう!」と叫んでもピンときませんが、「地域女性の美のために頑張ろう!」と呼びかけると、具体的にイメージしやすくなります。経営における全ての面において、コンセプトは欠かせないものなのです。そこで今回は、「コンセプトづくり」で成功を収めた事例を紹介し、「**障害者に優しいお店づくり**」で人気を集めた美容室の事例です。

最近、公共施設などでも車椅子専用トイレがあるのは当たり前ですが、美容業界で対応しているお店はほとんどありません。特に、カラーやパーマをかける場合は長時間になるため、車椅子を使用しているお客様のほとんどが、飲み物を控えるそうです。**トイレが車椅子に対応していないから**です。快適空間である美容室において、これはストレス以外の何者

でもありません。そこでオーナーは、お店の**全面改装**を決意しました。車椅子専用の大型トイレを構え、お店を全面バリアフリー化。さらに、スタッフは手話を習得し、障害者に優しい美容室に生まれ変わりました。

その噂は瞬間に地域に広がり、多くの障害者がお店を訪れるようになりました。障害者が使いやすい美容室は、当然健常者にとっても使いやすいお店なので、障害者以外のお客様も増えていきました。**明確なコンセプトをつくり、それを打ち出すことで大成功を収めることができたのです**。

「コンセプトをつくただけで商売繁盛すれば苦労はない」と思うかもしれませんが、そんなことはありません。もちろん、コンセプトだけで売上げが上がることはありませんが、**コンセプトがない会社・お店は絶対に繁盛しません。「コンセプト」とは、商売繁盛を実現する上で不可欠な要素なのです**。あなたの情熱を「コンセプト」として打ち出し、お客様を魅了していきましょう!

株式会社ザッツ 代表取締役
米満 和彦 (よねみつ かずひこ)
美容室・飲食店などの中小店舗・中小企業の販売促進支援を行なう。「ニュースレター販売術」など著書多数。



コストダウン↓ 経費削減

無駄な作業をなくす 最初の一步

無駄な作業をなくせば、人手が少なくなり、**コスト削減**につながります。それでは、無駄な作業を無くすためには何をしたらいいのか? といいますと、まずは**身の回りのものを減らす**ことです。あなたの机の上は一体どうなっていますか?

①今の仕事に必要な資料しかない
②資料が山積みになっている
③机が資料の山で占拠され、何かを書くにはまずスペースを確保しなければならない

さて、あなたの机は①②③のどれですか?
②や③の机の人は、必要な資料を探すのにひと苦労するはずです。必要とする資料は資料の山の中にあるけれど、すぐには見つかりません。あっという間に10分~20分経ってしまいます。運が悪いと見つからないことも…。これは机の上だけでなく、**倉庫や生産現場**も同じです。商品や材料、部品が山のようにあれば、注文を受けた商品や製造

に必要な材料や部品を取り揃えるのに時間がかかります。過去に使った残りのものが片付けられずに放置されたままであったり、今すぐは必要ないけどいずれ使うだろうと保管されているもので溢れていませんか? 職場がそのような状況では**「探す無駄・運ぶ無駄・確認する無駄」**など、あらゆる**無駄な作業**が発生してしまいます。

そこで、無駄をなくすためにまず最初にやるべきことは、**職場から今すぐ必要ないものをなくす**ことです。古くなって使えないものは捨てる。減多に使わないものは倉庫の奥にしまう。毎日使わないけれど、時々使うものは取り出しやすい棚に置く。それによってあなたの周りには、今すぐ必要なものだけしかなくなり、無駄な作業が大きく減ります。工場の現場改善では、この不要なものを取り除くことを「**整理**」と言います。「**整理・整頓・清掃・清潔・躰**」の**5S**の一番最初に来るものです。まずは、身の回りから要らないものを取り除くことから始めてみませんか?

株式会社しくみカイゼン研究所 代表取締役
若井 吉樹 (わかい よしき)
中小企業を中心に儲かるしくみ改善のコンサルを行なう。「世界一わかりやすいコスト削減の授業」など著書多数。

